



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成24年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 コーエーテックホールディングス株式会社

コード番号 3635 URL <http://www.koeitec.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 襟川 陽一

問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員CFO

(氏名) 浅野 健二郎

TEL 045-562-8111

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	20,860	7.1	1,803	—	1,720	—	666	—
23年3月期第3四半期	19,474	△11.1	△935	—	△246	—	△91	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △4,419百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △2,138百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	7.69	7.69
23年3月期第3四半期	△1.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	68,902	63,069	91.5	726.91
23年3月期	77,487	69,761	89.9	803.37

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 63,034百万円 23年3月期 69,666百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	9.1	5,000	51.3	6,500	35.8	3,600	31.3	41.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	89,769,479 株	23年3月期	89,769,479 株
24年3月期3Q	3,053,169 株	23年3月期	3,052,034 株
24年3月期3Q	86,716,844 株	23年3月期3Q	86,718,870 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、中国の景気拡大が続くなどアジア地域では総じて回復傾向にある一方、欧州では景気に対する不安感が高まるなど、全体としては弱い回復となっております。わが国経済につきましては、東日本大震災の影響が残るなか緩やかに持ち直していましたが、直近では輸出や企業収益が弱含んでおり、先行きについては依然下振れリスクが残る状況です。

ゲーム業界におきましては、2011年の国内家庭用ゲーム市場規模が前年比マイナスとなりましたが、ハード市場はニンテンドー3DSやPlayStationVita (PSVita) が貢献し、前年実績を上回りました。特にニンテンドー3DSについては、年末商戦においても大型タイトルが牽引する形で、ハード・ソフトとも大きく販売を伸ばしております。今後も新ハードの普及を促すタイトルが数多く提供されることにより、市場の活性化が期待されます。ソーシャルゲーム市場は依然高成長が続くなか、有力な自社IPを保有し、質の高いコンテンツを迅速に投入できる事業会社がますます存在感を高めております。

このような経営環境下において、当社では経営方針「成長性と収益性の実現」のもと、各種施策に取り組んでまいりました。ゲームソフト事業では、PSVitaを始めとした新ハード対応や、コラボレーションタイトルの開発を積極的に進めてまいりました。オンライン・モバイル事業においても、新規タイトルのリリースに加え、急速に普及するスマートフォンへの対応を推進してまいりました。また、継続的なコストダウンにより、収益力強化も着実に進んでおります。これらにより、当社グループの当第3四半期業績は、売上高208億60百万円（前年同期比7.1%増）、営業利益18億3百万円（前年同期は営業損失9億35百万円）、経常利益17億20百万円（前年同期は経常損失2億46百万円）、四半期純利益6億66百万円（前年同期は四半期純損失91百万円）と、大幅な増収増益を達成し黒字転換いたしました。

セグメントの状況につきましては以下のとおりです。

ゲームソフト事業 売上高 133億77百万円 セグメント利益 13億70百万円

国内においては、PSVita向けに「真・三國無双 NEXT」をリリースいたしました。新型ハードであるPSVitaならではの機能をフル活用した、ローンチタイトルにふさわしい作品となっております。

「無双OROCHI」シリーズの最新作「無双OROCHI 2」（PS3、Xbox360用）の販売も好調に推移いたしました。また、既発売タイトルのダウンロードコンテンツ販売も順調に伸びております。

海外においては、「DYNASTY WARRIORS 7 Xtreme Legends」（PS3用）を欧米向けに、「Champion Jockey」（PS3、Wii用）を北米向けに、さらに「真・三國無双 NEXT」をアジア向けに発売し、好評を博しております。

新規タイトル販売やリピートタイトル出荷が堅調だったことに加え、追加ダウンロード売上も伸長したことなどから増収となり、損益につきましても前年同期に比べ大幅に改善いたしました。

オンライン・モバイル事業 売上高 42億36百万円 セグメント利益 7億48百万円

ソーシャルゲーム事業においては、累計会員数が500万人を突破いたしました。これは、主力タイトルである「100万人の信長の野望」、「100万人の三國志」が好調だったことに加え、新規タイトルの投入を積極的に進めたことによるものです。10月にフィーチャーフォン・スマートフォン向けに「100万人のWinning Post」の配信を同時に開始するとともに、スマートフォン対応として「100万人の戦国無双」をサービスインしております。また、PC向けで好調な「のぶニヤガの野望」のフィーチャーフォン対応も実施しております。グローバル市場では、北米をはじめとした英語圏にて「100万人のモンスターファーム」、中国にて「1億人の三國志」の正式サービスをスタートしております。

オンラインゲーム事業においては、11月に「真・三國無双 Online 蒼天乱舞 4周年記念パック」（PS3用）、「大航海時代 Online Tierra Americana トレジャーパック 自由の大地」（Windows用）を発売したほか、各タイトルとも順調に推移しております。

以上の結果、オンライン・モバイル事業は増収増益を達成しております。

メディア・ライツ事業 売上高 12億99百万円 セグメント損失 5百万円

イベント事業においては、10月に「戦国無双 声優奥義2011秋」及び「遙か祭2011 桜花恋模様」、12月に「ネオロマンス スターライト・クリスマス2011」を開催し、多くのお客様にお楽しみいただいております。また、キャラクターグッズの販売も好調で、収益に貢献いたしました。ゲームソフトにおきましては、楽しく遊びながらビジネススキルやマナーもいつの間にか身につく、新感覚のゲームソフト「FabStyle」(3DS、DS用)を発売いたしました。ソーシャルゲーム「100万人の金色のコルダ」につきましましては、11月からスマートフォン向けサービスを開始するとともに、イベント連動などを進めたことから堅調に推移しております。

以上の結果、第2四半期から損失額は大幅に縮小しております。

SP事業 売上高 7億2百万円 セグメント利益 2億38百万円

パチンコ機「CRぱちんこRio 9AS」がリリースとなったほか、液晶受託開発につきましても順調に開発が進みました。今後も積極的にパチンコ・パチスロ機への著作権許諾及び液晶ソフト開発受託に取り組んでまいります。

アミューズメント施設運営事業 売上高 13億96百万円 セグメント利益 86百万円

ゲーム機械導入を積極的に進めたことなどにより、既存店売上は引き続き堅調に推移いたしました。また、12月に「テクモピア鹿沼店」をオープンいたしました。今後も効率性向上及び収益力強化に努めてまいります。

その他事業 売上高 1億74百万円 セグメント利益 18百万円

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産の部

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して85億85百万円減少し689億2百万円となりました。これは主に、現金及び預金が56億52百万円、売掛金が28億36百万円減少したことによるものであります。

②負債の部

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して18億93百万円減少し58億32百万円となりました。これは主に、買掛金が7億72百万円、未払法人税等が3億74百万円それぞれ減少したことによるものであります。

③純資産の部

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して66億91百万円減少し630億69百万円となりました。これは主に、四半期純利益6億66百万円を計上した一方で、利益配当17億95百万円があったこと、その他有価証券評価差額金が48億93百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月9日に公表した通期の連結業績予想は変更しておりません。今後、業績予想数値に修正が生じる場合は速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成23年12月13日に、株式会社ガストの発行済全株式を取得し、連結子会社といたしました。
当第3四半期連結会計期間末は、貸借対照表のみ連結しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成22年6月30日 企業会計基準第2号）及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成22年6月30日 企業会計基準適用指針第4号）を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間においては、これによる影響はありません。

(会計上の見積りの変更・修正再表示)

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(法人税率の変更等による影響)

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」（平成23年法律第114号）及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」（平成23年法律第117号）が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。

これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来40.6%から、平成24年4月1日に開始する連結会計年度から平成26年4月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については38.0%に、平成27年4月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異については35.6%となります。

なお、この税率変更による当第3四半期連結累計期間における繰延税金資産及び繰延税金負債の修正差額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,685	5,033
受取手形及び売掛金	7,688	4,852
有価証券	2,578	4,761
商品及び製品	485	211
仕掛品	300	972
原材料及び貯蔵品	49	80
繰延税金資産	691	477
その他	2,927	2,008
貸倒引当金	△114	△67
流動資産合計	25,293	18,328
固定資産		
有形固定資産	13,092	14,317
無形固定資産		
のれん	2,918	4,090
その他	780	624
無形固定資産合計	3,698	4,714
投資その他の資産		
投資有価証券	32,550	28,794
更生債権等	27	26
繰延税金資産	1,746	1,690
敷金及び保証金	897	855
その他	207	200
貸倒引当金	△27	△26
投資その他の資産合計	35,402	31,541
固定資産合計	52,193	50,573
資産合計	77,487	68,902

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,763	991
短期借入金	—	100
未払金	1,226	1,087
未払法人税等	669	295
賞与引当金	668	319
役員賞与引当金	29	29
返品調整引当金	63	36
売上値引引当金	267	161
ポイント引当金	10	11
その他	1,836	1,691
流動負債合計	6,536	4,724
固定負債		
繰延税金負債	9	9
退職給付引当金	572	557
その他	606	540
固定負債合計	1,188	1,108
負債合計	7,725	5,832
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	24,640	24,640
利益剰余金	38,129	36,584
自己株式	△2,367	△2,368
株主資本合計	75,402	73,857
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,873	△6,767
土地再評価差額金	△3,101	△3,101
為替換算調整勘定	△760	△952
その他の包括利益累計額合計	△5,736	△10,822
新株予約権	95	34
純資産合計	69,761	63,069
負債純資産合計	77,487	68,902

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	19,474	20,860
売上原価	14,502	13,759
売上総利益	4,972	7,100
販売費及び一般管理費	5,907	5,297
営業利益又は営業損失(△)	△935	1,803
営業外収益		
受取利息	1,465	1,419
その他	629	798
営業外収益合計	2,094	2,218
営業外費用		
有価証券評価損	175	1,514
有価証券償還損	704	511
為替差損	365	249
その他	159	26
営業外費用合計	1,405	2,301
経常利益又は経常損失(△)	△246	1,720
特別利益		
新株予約権戻入益	—	73
特別利益合計	—	73
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	135	—
買取請求に伴う法定利息	—	66
特別損失合計	135	66
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△381	1,727
法人税、住民税及び事業税	437	582
法人税等調整額	△726	478
法人税等合計	△289	1,060
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△91	666
少数株主利益	0	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△91	666

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△91	666
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,668	△4,893
為替換算調整勘定	△379	△192
その他の包括利益合計	△2,047	△5,085
四半期包括利益	△2,138	△4,419
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,139	△4,419
少数株主に係る四半期包括利益	0	—

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当ありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ゲームソフト	オンライン・モバイル	メディア・ライツ	SP	アミューズメント施設運営	計				
売上高										
外部顧客への売上高	11,654	3,348	1,022	1,001	2,260	19,286	188	19,474	—	19,474
セグメント間の内部売上高又は振替高	301	—	23	12	—	337	—	337	△337	—
計	11,955	3,348	1,046	1,013	2,260	19,623	188	19,811	△337	19,474
セグメント利益又は損失(△)	△1,452	500	△11	521	200	△241	71	△169	△765	△935

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、ベンチャーキャピタル事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△765百万円はのれんの償却額であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ゲームソフト	オンライン・モバイル	メディア・ライツ	SP	アミューズメント施設運営	計				
売上高										
外部顧客への売上高	13,249	4,094	1,298	688	1,396	20,727	133	20,860	—	20,860
セグメント間の内部売上高又は振替高	127	142	0	14	—	285	41	326	△326	—
計	13,377	4,236	1,299	702	1,396	21,012	174	21,187	△326	20,860
セグメント利益又は損失(△)	1,370	748	△5	238	86	2,439	18	2,457	△654	1,803

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、ベンチャーキャピタル事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△654百万円は、のれんの償却額△763百万円及び営業外損益への振替額109百万円であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

(のれんの金額の重要な変動)

平成23年12月13日に株式会社ガストの全株式を取得し連結子会社としたことから、のれんの金額に重要な変動が生じております。

なお、当該事象による当第3四半期連結会計期間におけるのれんの増加額は、1,936百万円であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象
該当事項はありません。